

ホンダ熊本製作所50周年

操業開始50周年を祝して

本田技研工業株式会社熊本製作所は、今年で1976年の操業開始から50周年を迎えました。これを記念し、1月5日に式典が開催されました。熊本製作所はホンダの国内唯一の二輪車生産拠点として高品質な製品を世界83の国と地域に供給しています。島添所長は「今後もホンダは、新たな電動化製品を含む質の高い二輪、パワープロダクツ製品を通じ、お客さまに『生活の可能性が広がる喜び』を提供していきます」と述べました。



特別塗装のゴールドウイング



会場に並んだ往年の名車たち



式典で挨拶する熊本製作所 島添正規所長



熊本製作所(完成車工場)

熊本県教育功労表彰を受賞

ICT活用に優れた指導力が評価

護川小学校の小林翼教諭が「熊本県教育功労(優秀教職員)表彰」のフレッシュ・キャリア部門(48歳以下)で昨年10月6日に表彰されたことを受け、11月28日に町教育委員会に報告に訪れました。小林教諭はICTを活用した教育実践が豊富であり、児童が能動的かつ自立した学びを得ることができるよう授業改善を続けています。児童への指導だけでなく、校内の教職員への指導も行なうなど、情報教育の推進で主導的な役割を果たしています。



小林翼教諭 ⑥護川小学校 益崎恭行校長

ひまわり工房開店

大津中学校ひまわり学級がイオンで販売会実施

大津中学校ひまわり学級在籍の生徒による作業製品販売会が、イオン大津店で昨年12月9日に行われました。ツリーキャンドルやクリスマスリースのほか、お箸セットやしおりなどを販売しました。販売した商品は約半年間、1つ1つ想いを込めて、生徒たちが手作りしたものです。当日は、会場設営から販売、会計まで生徒たちが主体的に行い、多くのお客さんが訪れ、ひまわり工房は大繁盛でした。



サンタクロースの帽子をかぶって販売会を頑張りました

伝統の「梅の造花」を未来に

新調した梅の造花を町へ寄贈

町の無形民俗文化財に指定されている「梅の造花」の保存活動に取り組む「肥後大津民芸造花保存会」が、二十歳式などの場で活用してほしいと新たに紅梅を制作し、昨年12月24日に目録が贈呈され、今回の寄贈に対し、吉良教育長から感謝状を贈呈しました。

新開ツキ子会長は、「紅梅の色に染めるのに試行錯誤したり、材料の紙が入手困難な時期もあったが、今後も次の世代につなげられるよう活動していきたい」と述べました。



肥後大津民芸造花保存会 新開ツキ子会長(前列右)、高濱順子さん(後列右)、大久保千代美さん(後列中央)



感謝状を受け取る新開会長⑤

会場を華やかに演出



紅梅の色に染まった梅の造花



梅の造花
保存会について
詳しくは
こちら▼



未来へつながる。中九州横断道路

大津熊本道路(大津西～合志)着工式

大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部、大津熊本道路のうち、大津町杉水と合志市上庄を結ぶ区間4.7kmの着工式が昨年12月21日に合志市総合センター「ヴィーブル」で行われました。中九州横断道路は、沿線地域の産業発展や地域活性化に加え、災害に強いネットワークの構築を目的としています。本区間は令和4年度に事業化され、これまで測量設計、用地買収が進められてきました。早期完成に向け、事業主体である国、関係機関と連携しながら今後も進めていきます。



着工式では、関係者による「鉄入れ」を行いました

心通う地域づくり

町内初の認定

「桜丘つどいのば」が町内第1号となる県の「認知症サポーターアクティブチーム」に認定され、昨年12月23日に同会場で認定証書が授与されました。同団体は週に1回、地域の皆さんが集まる通いの場として長年活動しており、令和5年度からはさらに間口を広げて「桜丘おしゃべりカフェ」も開始しました。気軽に語り合える場として、地域の皆さんに親しまれています。今後も地域に笑顔を広げる活動が期待されます。



認定証書の授与を受ける、桜丘つどいのば担当の千田恭子さん